

III 症状ごとの対応

# 4. 吐いたとき



嘔吐したときには、回数はどうか、腹痛はあるか、頭痛はあるか、熱があるか、機嫌はどうか、食欲はあるか、下痢があるかなどをよく観察してください。

## + すぐ受診した方がよいとき

3ページに記した症状があり、さらに以下の症状がある。

- とても機嫌が悪く、間隔をおいて急に泣くことを繰り返す。(血便を伴うこともあり)
- 熱があり、あやしてもずっと機嫌が悪い。顔色が悪い。(首を前に傾けるとひどくなることもある)
- 頭を打ったあと、機嫌が悪い、何度も吐く。
- 下痢も何度も繰り返しぐったりしてきた。
- 水分がとれず、おしっこが減ってきた。(おしっこが半日位出ない)



### 赤ちゃんの嘔吐

- 吐いたあと、ケロリとしている場合は心配ありません。
- 順調に体重が増えているなら、多少吐いても発育には影響しません。

### 幼児の嘔吐

- かぜや扁桃炎、胃腸炎のときは吐きやすくなります。
- 発熱や頭痛、血便など他の症状をともなっていないか観察を。



## 家庭での対処方法

### 水分補給がポイント



脱水症状になりやすいので、吐き気が治ってから15～30分程度を目安に、イオン水、湯冷まし、うすめのお茶などを少しずつ、回数を多めに与えるなどして、水分を十分に与えてください。

## ! 注意すること

- ! 吐いたものをのどにつまらせないように、寝ているときは体や、顔を横に向けてください。
- ! 赤ちゃんにミルクを飲ませたときは、縦に抱き、ゲップをさせてから寝かせてください。

